

私は新社会党の議員で、「社民党・共産党・市民派の平和大連合で、自・公・民のなれあい政治にストップ」を掲げています。今年も元気に市民の声を議会に活かします。



お元気ですか

2007年1月 議会報告
通巻 233号

市議会議員 山下けいき

TEL 635-6680

〒567-0849 茨木市平田台5-6-401

fax 635-5184

市役所へのご意見、ご要望はお気軽にご連絡ください。メール keiki@crocus.ocn.ne.jp
<http://www.genki-yamashita.com/> 山下のホームページが元気です。

新鮮、ボリュームで勝負しています。「山下けいき」で簡単に検索できます。ぜひご覧ください。



大岩郵便局の
今後を考える会で宣伝

ブログ・山下けいきRUNRUNデジカメ日誌から
(<http://blog.goo.ne.jp/genki1541>)は昨年5月から毎日更新しています。)

◆文教委員会 子ども請願が否決に(12/12)

3万人を大きく越える署名を添えた子ども請願は残念ながら私と岩本議員の賛成だけで否決された。夕方は阪急茨木市駅で教育基本法改悪反対の宣伝行動。終わってから大岩郵便局の今後を考える会の定例会。

◆同和施策を巡ってのやり取りが続く(12/8)

2日目の本会議。10時にスタートして終わったのは夜の7時近く。一部だと思いたいですが幹部の不祥事が相次いだ部落解放同盟に関連して、同和施策を巡ってのやり取りが続く。共産党は全ての施策をやめろといい、民主は差別がまだ残っているという。保守系の議員はごちゃ混ぜで何の筋も理論もない。答弁する人権部長も大変である。

差別がある限り差別をなくす取組みはやらなければならない。私にとっては当然だし全ての人に関心を持って欲しい。

ただその中心を担うべき部落解放同盟が本当に差別を生み出すものと闘っているのか、疑問がある。谷畑孝という自民党の衆議院議員がいる。部落解放同盟を基盤として彼が国政に挑んだ時は社会党公認で、当時争点だった消費税反対の闘いとして私たちは汗を流した。それが小選挙区制になるやいなや、変身して自民党である。変身は変身でもウルトラマンや仮面ライダーならカッコいいかもしれないが、悪の組織、ショッカーならぬ自民党では話にならない。自民党こそ種々の差別と格差を生み出している張本人ではないか。部落解放同盟が闘うべき自民党と闘わず、変節した谷畑孝を批判どころか支援までする。自民も民主もほとんど一緒だから矛盾しないのかもしれないが、私には理解できないし理解する気もない。部落解放同盟が自民と決別し、あらゆる差別や世の中の矛盾を闘う原点に立ち戻ってほしいと願っている。

12月本会議質問

高齢者泣かせの 医療制度がやってくる

後期高齢者医療広域連合は国が医療費抑制を目論んで自治体に押し付けてきたもので、内容的にも75歳以上の高齢者から保険料を年金から天引きし、保険料が払えなければ短期保険証や資格証明書となり、病院にもかかりづらくなります。

埼玉県志木市の長沼市長はホームページでこの制度は「頭が痛い」と幾度も述べているが、野村市長はどうかとただしました。しかし答弁はこの制度を肯定するだけのもの。心温まる市政を願っているのですが……。



次の質疑を行い大阪府後期高齢者医療広域連合の設置に関する条例に反対しました。

①現行の老人保健法から2008年度には75歳以上を対象とした後期高齢者医療保険制度が始まる。これら一連の医療制度改革によって政府の負担は軽くなるが、患者・高齢者・保険者・被保険者には負担増を強いるものになっていると思うがどうか。

②新しい高齢者医療制度は、75歳以上だけの健康保険制度で保険料は年金から天引きする。所得が少なく、有病率の高い、高齢者だけの保険制度はリスクを分散し全体で面倒を見るという国民皆保険の理念からほど遠いと思うがどうか。

③もともと広域連合は市区町村から自発的に発議し、市区町村の判断で脱退もできる性格だった。ところが今回の広域連合は法律で都道府県を単位とし、全ての市町村に加盟が義務づけられている。これは分権・自治に反するのではないか。

④更に国には様々な「助言」の名をかりた介入や、「財政調整交付金」を使った誘導など大きな指導権限が与えられる。広域連合が、国いいなりの「保険料取りたて・給付抑制」の出先機関になる恐れがあると言われているがこの点どうか。

⑤広域連合は、地方自治法上の特別地方公共団体であり、独自の「議会」を設置し、保険料などの条例や独自の予算で運営される。広域連合議会の構成は、他の府県においては首長も議員になるところもあると聞いているが、大阪府の場合、議員だけになっている。そうすると各自治体の首長の意見はどういう形で、この広域連合に反映されるのか。

⑥広域連合から市や議会への報告義務、後期高齢者の意思反映の仕組み、情報公開の徹底などはどのようになっているのか。また市は高齢者の実態に応じた保険料設定について、現時点でどのように考えているのか。

⑦議員や執行機関の広域連合長といっても政令都市の大阪市から、千早赤阪村まで出身自治体には大きな差がある。議員や首長であれば出身自治体に関係なく選出されるのか。また議員20名のうち議長会から何名、推薦で何名と決まっているのか。

市長が頭を痛める後期高齢者医療制度

—埼玉県志木市長のホームページから—

平成 20 年度から後期高齢者医療制度がスタートする。

後期高齢者とは、75 歳以上の高齢者のことで、75 歳以上の高齢者が加入する、新たな医療保険制度が、平成 20 年度から創設されるのである。保険者は埼玉県を単位とする広域連合である。志木市はこの広域連合の構成員となる。そして、後期高齢者から保険料を徴収するのが、市町村の役割になっている。

医療制度改革に伴ってできあがった新たな制度とはいえ、市長としては、75 歳以上の高齢者から保険料を徴収するのは、たいへん頭が痛い。

現在、年金受給者を含めた年間収入が 180 万円未満の 75 歳以上の高齢者は、子供の被扶養者となり、自分で健康保険料を納める必要はない。ところが、平成 20 年度以降は、保険料を納めなければいけなくなるのである。74 歳まで、子供に扶養されていて、子供の健康保険に入れてもらっていたのに、一つ年をとって、75 歳になったら、扶養からはずれて、保険料を徴収される。国で決めた制度とはいえ、市長としては、市民、とりわけ高齢者にどう説明すれば、ご理解いただけるのか、本当に頭が痛い。

厚生労働省の説明資料によれば、厚生年金の平均的な受給者(年間 208 万円受給)の場合、月額保険料は、6200 円程度になる見込みという。サラリーマンに扶養されていた親で、基礎年金の年金受給額が 79 万円の後期高齢者は、3100 円程度になるという。ただし、この場合は、激変緩和措置で、2 年間は保険料を 5 割軽減し、1500 円程度にするという。

また、保険料の徴収方法は、年金からの天引きになるという。ただし、すでに平成 20 年の 4 月 1 日に 75 歳になっている人は、平成 20 年の 4 月 15 日に支給される年金から天引きされるのか、また、年度の途中で 75 歳になった人は、いつから、保険料が年金から天引きされるのかなど、詳細はわかっていない。

わかっているのは、埼玉県を単位とした広域連合で行うので、志木市に住んでいる 75 歳以上の高齢者も、新座市に住んでいる 75 歳以上の高齢者も、同じ埼玉県に住んでいれば、どこの市町村で生活しても、同じ保険料を徴収されるということである。

また、この後期高齢者の保険制度の保険料と介護保険料の合計額が、支給される年金額の半分を超えていた場合は、後期高齢者の保険料については、年金から天引きせず、市町村が普通徴収の方法により、徴収することになっているということだ。重ねて言うようだが、市町村は頭を抱えている。

志木市のデータでいうと、65 歳以上 75 歳未満の前期高齢者が要介護認定を受ける割合は、3%程度である。しかしながら、75 歳以上の後期高齢者が要介護認定を受ける割合は、おおむね 4 人に 1 人になる。

介護保険で 1 割の自己負担、後期高齢者医療保険制度でも 1 割の自己負担、そして、新たな保険料の納付義務の発生。

高齢者の医療保険制度がこう変わりますという意味で、説明責任を果たさせていただきましたが、どの市町村でも、市長も職員も、本当に頭を痛めながら、この事務に取り組んでおります。

(全国一緒の制度ですので茨木市も同様になります)



山下けいきホームページの紹介

山下HP(<http://www.genki-yamashita.com/>)のご紹介です。鮮度とボリュームは誰にも負けません。約 800 を超すHPとリンクしており、地方自治・議会はもちろんですが、身近な生活情報、ミュージック、人々の幸せを願っての運動まで、個人のHPでは全国有数のリンク数だと自負しています。ぜひご覧いただき、またご利用いただければ幸いです。

<次のような内容になっています>

- ◆トップページ(山下けいきの時々刻々、イベントのご案内、更新の記録)
- ◆わがまち茨木／玉島の 365 日()
- ◆リンク集(天気予報、交通機関、地図、地方自治、政党、議員、平和、教育、福祉、マラソン)
- ◆山下けいきの議会全仕事(27 年間の本会議、常任(・特別)委員会、討論の発言記録)
- ◆山下けいきの実績(はじめて取り上げ成果を生んだものを紹介しています)
- ◆会議録はおもしろい
- ◆ザ・茨木市議会(歴代茨木市議、各議員の仕事ぶりなど公式ではない面白さ)
- ◆面白調査(人生いろいろ、自治体もいろいろ)
- ◆山下けいきの基本信条／山下けいきのプロフィール
- ◆石の流れる世の中だけど(日頃の思いを綴っています)
- ◆これまでのトップ写真
- ◆写真で見る活動(懐かしい写真がいっぱい)
- ◆新聞に見る活動(マスコミに取り上げられた活動)
- ◆「お元気ですか」(230 号を越す山下の活動報告集)
- ◆戦争ノー、ピースナウ(反核平和の火リレーなど)
- ◆WE LOVE 安威川(なぜダムに反対なのか、憩う人達)
- ◆茨木ユース 100(安威川敷で開催のミニ陸上競技会)
- ◆公立保育所民営化を考える／◆大岩郵便局を考える会／◆西日本入管センターを考える会／◆誰のための予防接種／◆動物と人の共生を求めて／◆いい憲法やないか／◆新社会党です／◆天六ユニオン／◆好きな作品です／◆走ることが好きです(大会写真と学生時代からの記録)



議会関係の更新記録です

アクセスが 2004 年 5 月の
スタートから 32600 を超えました

- 「お元気ですか」231 号を追加しました。(12/16)
- 議員の働き度など 9 月議会まで追加しました。(12/13)
- 「ザ・茨木市議会に議長への申入れを追加しました。(12/3)
- 「大岩郵便局の今後を考える会のコーナーに関連HP、写真と地元住民の声、署名用紙など追加しました。(11/28)
- 「公立保育所の民営化を考える」に関連HPを追加しました。(11/26)
- リンクにはじめてのマラソン大会、教科書ではわからない本当の歴史 アジア太平洋戦争の真実、茨木市立三島保育所保護者会民営化対策委員会、子供の遊び場、子育て支援 WEB／茨木市、親の会のオピニオン、全保連(全国保育団体連絡会)、保育園を考える親の会を追加しました。(11/26)